

日刊

産業新聞

Japan Metal Bulletin

2023年(令和5年)

3月17日(金)

第20645号
Since1936

桂スチール、設備増強

岡山第1—3工場省人化

ビルトH形鋼(BH)製造で国内最大手の桂スチール(本社=兵庫県姫路市、三木伸一社長)は2023年、各工場で設備の増強を実施する。岡山第1工場(岡山県備前市)と岡山第2工場(同、岡山第3工場(同)に各種機械を設置し9月までに完了させ、省人化を進める予定。

第1工場には、日酸TANAKA製の自動ガス切断装置(ガスブレーカー)を1基増設する。

第2工場では、コマツ産機製の水中ファイバーレーザーを1基増設、大同マシナリー製

ツ産機製の水中ファイバーレーザーを1基増設、大同マシナリー製

のBH専用穴開け加工機1基のリプレースも行う。

第3工場では、3月にハタリ一製のBHフランジ型きり切断機を1基新設、すでに本稼働を開始している。

同社の22年9月期に

における売上高は約16億円、BHの生産実績が年間約7万トン。足元の建築需要は東京・大阪の再開発や物流拠点データセンタなど大型案件が多く、BHへのニーズが高まっている。24年は本社ビルの建て替えも行う。